

彼方「あなた」

校長通信
H24.5.22
Vol.13

【修学旅行事前指導！】

午後から私の出張のため、事前指導を1時間目に回していただきました。宅配便で送る荷物をコンテナに積み、そのまま体育館での事前指導をおこないました。

今では当たり前のように宅配便が利用され、グループ毎に携帯電話が渡され、GPS機能でそれぞれのグループの居場所が把握できるようになりました。十数年前からこういうシステムが利用され始めていましたが、実に便利な世の中になりました。

ところで、「交通網が発達した現代社会における修学旅行の持つ意味は何だろうか。」と言うことを改めて考えてみました。

学力向上・学力向上と叫ばれていますが、(本校も学力向上に関する市の指定校になっています。)決して授業だけで学校が成り立っているわけではありません。

教育課程を見れば、帰りの会もあり、部活動や清掃活動、委員会活動があります。そして、一年生の校外学習、二年生の林間学校、三年生の修学旅行と

続き、夏の大会やコンクール、体育祭、文化祭、合唱コンクールと続いていきます。卒業するまで実に沢山の行事が用意されています。

教育課程を見直し、教科に特化するぐらいスリム化することも必要だと力説される方も沢山いらっしゃいますが、私は、行事こそ優れた授業であり、子供たちの可能性を引き出すものだと考えています。

修学旅行も課題をしっかりと設定し、その解決に向け、質の高い取り組みを行うことで、個々の行動改善を図り、集団の質を高めていくのである。

「一人一人が自分の仕事をしっかりと行い、班・学級・学年の団結力を深め、内容の濃い修学旅行にしよう！そして、思い出をいっぱい作ろう！」というのが3年生の作った目標です。学校教育目標の「自主貢献」とからめて事前指導で次のようにな話をしました。

「三年生の修学旅行は、「役割を果たす」「つながる力を強める」「思い出を作る」というのが目標です。私たちの学校教育目標は「自主貢献」です。「自分で適切に判断・行動し、助け合える生徒になろう！」です。「周囲のことを考え、自らの役割を果たす」「みんなが助け合いながら取り組むことのできる力が強くなる」「できたことやよいことを意識することによって思い出をつくる」修学旅行を通して目標を達成することは、学校教育目標に迫ることです。そこで、

みなさんに意識して欲しいことがあります。それは、「適切に判断・行動する」ということです。判断・行動するためには基準が必要です。みなさんの判断基準は何ですか？私の判断基準は「周囲の笑顔」です。自分がどう動くべきかを考えるとき班の友達や学級の仲間、先生、両親や家族、地域の人、その時々で笑顔にする相手が変わりますが、どうすれば笑顔になるかを考え、行動するのです。自分の役割を果たすというのは、周囲の笑顔を増やすことなのです。沢山の笑顔が広がる力を強くするのです。みなさんの修学旅行の思い出が、沢山の笑顔で彩られることを願っています。」

「笑顔の修学旅行」と言い換えて話しましたが、見えにくい行為の判断基準を「周囲の笑顔」とすることで、判断・行動が適切であったかを評価しやすくなるのです。旅先での自分の行為が周囲を明るくするということ、相手を思いやる些細な行為で大きな幸せ感が得られるということを実感して欲しいのです。場所を変えて学び直すことが、修学旅行の持つ本来の意味のひとつだと思います。

新しいスタッフを加えた三年生の先生方の一生懸命な仕事ぶりが、必ず子供たちに伝わり、みんなが沢山の笑顔を持ち帰ることができるものと確信しています。

湖北劇場「修学旅行編」の始まりです！いかががいなりますことやら・・・！乞うご期待！